

# 風景の中で 14



## 父子で作曲家

図書館長 井上 郷子

2022年4月、私はCD『松平頼則・松平頼暁ピアノ作品集』をリリースしました。松平頼則(1907-2001)、松平頼暁(1931-) 両氏はともに日本を代表する作曲家で、父子の間柄にあります。この父子をもって、20世紀前半から今日まで、日本の近代、現代音楽を強力に牽引したことは、誰もが認めるところでしょう。私は30年以上この父子の音楽に親しみ、彼らの作品を弾き続けてきました。

松平頼則さんは、現代日本における作曲のパイオニア的存在、ヨーロッパ芸術音楽の様々な音楽語法と、ご自身の根幹をなす雅楽とを融合させることで、独自の高雅な音楽を生みだされました。頼則さんが私に贈ってくださった、雅楽の旋法名がタイトルになっている作品があります。音列としての音が広い音域にまたがって散らばり、厳しい音楽なのですが、不思議な、雅楽の“何か”を感じさせます。頼則さんの探求心は飽くことを知らず、1990年代前半だったと思いますが、「郷子さん、私はようやく、どんなふう作曲したらいいかわかるようになってきました」とおっしゃり、私はとても感動したことを覚えています。

一方の松平頼暁さんは、90歳を過ぎた今でも現役バリバリの作曲家です。初期のセリー的な音楽から現在まで「形式構造」に強い意識をもった作曲を続けていらっしゃるその一方で、自由な、カテゴリーに縛られない、豊かで多様性に富む音楽を創造しておられます。頼暁さんという存在自体と彼の、音楽への一貫した誠実な姿勢にいつも励まされるのは私だけではないと思います。2019年に私の委嘱で作曲された《ピアノのための3章》は、前年に50歳で亡くなった頼暁さんの娘さんのための追悼曲ですが、こんなにもシステムティックに書かれた音楽がこんなにも人の心を動かすのか、と心底、この曲には驚かされました。

お二人の音楽の相貌は大きく異なりますが、並べて演奏してみると、深いところで通じている強いものを感じます。「各々の個性をもって屹立し、反発と引き合いを繰り返しつつ周囲を照らす二連星・・・」これは、両氏の音楽を心から愛する音楽評論家、石塚潤一さんの素敵な言葉です。(CDライナーノーツより)

『松平頼則・松平頼暁ピアノ作品集』  
井上郷子(ピアノ) ALCD-133 請求番号●XD78099

## 資料の部屋 13

## 「音楽はお好きですか？」

三宅 巖

コロナウィルス感染者数が再び増えつつありますが、皆さんは演奏会に行かれていますか。

今回紹介する本は指揮者の藤岡幸夫さんの2冊のエッセイです。書名の「音楽はお好きですか？」は藤岡さんが指揮と司会を務める音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(BSテレビ東京、毎週土曜日8:30~)のサブタイトルであり、「音楽が好きならば、クラシックも聴いてみませんか？」という思いが込められています。

藤岡幸夫さんは1962年、東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1993年、英国でデビュー。以降、多くの海外オーケストラに客演。2007年関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者に就任。現在は2019年4月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者をされています。

藤岡さんは、日本では普通の大学の出身なので、「音楽大学に行かないで、どうして指揮者になれたの?」とよく聞かれたそうです。1冊目の『音楽はお好きですか?』では、指揮者を志し、渡邊暁雄氏の内弟子となり、英国の音大に留学して、英国でデビュー

するまでを、尾高忠明先生等日本を代表する名指揮者の方々の思い出話を交えて紹介しています。続く2冊目の『続 音楽はお好きですか?』では、師匠渡邊暁雄氏の口癖「我々音楽業界の人間は、過去の作曲家たちのおかげでメシを食ってる。その恩返しを今の作曲家たちにするのが我々の義務だよ」に従って、吉松隆氏の「朱鷺によせる哀歌」を含む作品集のCDを作成したエピソードを始め、クラシック音楽のみならず、新しい調性音楽を求めて、映画音楽の富田勲氏、菅野祐悟氏の作品を演奏会で取り上げる藤岡さんの熱い思いが語られています。また、藤岡さんの好きな作曲家の作品で取り上げられたエルガーの交響曲第1番は私の一番好きな曲で、曲の細かいエピソード等が書かれていて、大変うれしかったです。皆さんも是非聴いてみてください。

『音楽はお好きですか?』  
藤岡幸夫著 敬文舎 2020  
請求番号●J137-456



『続 音楽はお好きですか?』  
藤岡幸夫著 敬文舎 2021  
請求番号●J138-695

みやけ いわお(図書館職員) ● コロナ過の前に私が行った最後の演奏会は2017年の藤岡さんが指揮した東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団のエルガーの交響曲第1番の演奏でした。